

# 大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局

大阪市中央区道修町3-3-10

日宝(旧大阪屋)道修町ビル3F

06-6232-1095

## 戦後70年沖縄平和ツアー〈訪問記〉

(6/13~15)

24名が参加

### 「沖縄の現状と『オール沖縄』勝利のたたかい」

沖縄船員会館で仲山忠克弁護士（沖縄革新懇代表世話人）に、「沖縄のたたかいと現状について」最新情勢を力強く語っていただきました。

大城辰彦・沖縄中小企業家同友会専務理事のご援助で、当初、赤嶺政賢（沖縄1区選出）衆議院議員との懇談を予定していましたが、国会での安保法制特別委員で「戦争法案」審議のため、急きよ仲山さんに交代しました。

大城さんは元全損保労組本部書記として12年間活動し、その後、現地からの要望で沖縄に戻られ「沖縄の経済界」で活躍されています。全損保労組時代の東海・朝日闘争にも大きく関わりました。

仲山弁護士も、全損保の「在職死亡の闘い（過労死闘争）」村松裁判（共栄）などで弁護団の一員として関わっていただくなど、損保労働者においても深い繋がりがありました。

### 仲山忠克弁護士（沖縄革新懇代表世話人）

〔沖縄情勢報告要旨〕

まず最初に、大阪のみなさんが、「都構想」による住民投票で橋下・維新の会に勝利し、橋下氏を引きずり下したことにお礼を申し上げます。



沖縄は翁長雄志知事が誕生し、総選挙で沖縄4区とも自民現職を落とし「オール沖縄」で勝利したことが全国に希望を与えています。

1995年に少女暴行事件があり、それから運動が高揚しました。1997年から辺野古の闘いが始まり、その年に名護市長選挙で稲嶺市長が誕生し「新基地反対」で合意しました。その後、読谷村で「9万人集会」が取り组まれ、「オール沖縄」のたたかいがスタートしました。

仲井真知事が「辺野古埋め立て承認」をしたことから、2014年11月の知事選で辺野古新基

- ・1日目・瀬長亀次郎「不屈館」で次女で館長の内村千尋さんからお話を聞く〜対馬丸記念館（沖縄から長崎へ貨物船で学童の集団疎開中に米軍の魚雷に沈没させられる）〜沖縄革新懇との懇談会
- ・2日目・普天間基地視察（嘉数高台より）〜嘉手納基地視察〜砂辺米軍住宅（思いやり予算で建てた立派な家＝車窓より）〜読谷村・9条の碑〜辺野古新基地阻止テント村激励（寄せ書きと絵手紙と、皆さんからお預かりしたカンパ55000円を届ける）
- ・3日目・今帰仁（なきじん）城跡見学〜海洋博記念公園（美ら海水族館など見学）

地反対を唱える翁長知事を誕生させ、沖縄の良識が勝利。その後、総選挙で「新基地は許せない」という県民の強い思いが実現しました。「報いを求めない献身性」「原則的なたたかい」が「オール沖縄」を形成したのです。

沖縄は戦後70年間米軍基地で苦しめられて来ました。憲法9条が適用されないという沖縄の苦難の歴史がそこにあります。

沖縄復帰後43年が経過しますが、アメリカ占領当時から瀬長亀次郎さんや屋良朝苗さんの米軍基地を許さない原則的なたたかいがありました。このたたかいは少数派からスタートしましたが、その倫理性、論理性によって大きく発展し今日に至っています。

今必要なのは、沖縄の新基地反対のたたかいと全国の戦争法反対のたたかいを結合させることです。日米軍事情体強化の〈法的基盤〉が「戦争法」であり〈物的基盤〉が「辺野古」だからです。

革新懇運動を強めることによって軍事力によらない平和を、国とのせめぎあいを通じて実現させましょう。

文責・事務局



# 辺野古に新基地を作らせない 絵手紙・寄せ書きなどで激励！



後列中央が篠原孝子さん(テント村代表)



沖縄県民は、戦後70年「銃剣とブルドーザー」で強制接收されて造られた米軍基地を挟んで「容認派・反対派」に、県民同士が分断されてきました。

こうしたなか、昨年1月の名護市長選挙で辺野古移設反対を掲げる稲嶺進市長が再選を果たし、9月の市議会選挙で新基地反対の議員が多数を占めました。11月の県知事選挙は普天間基地への移設問題が最大の争点として行われ、「新基地は造らせない」とする翁長雄志新知事が、前知事に10万票の大差をつけて圧勝しました。続く12月の衆議院選挙でも、沖縄選挙区の全てで「辺野古新基地建設反対」の候補者が勝利し、沖縄県民の圧倒的多数の民意が示されました。

安倍政権は、仲井真前知事が公約をひるがえし行った公有水面埋め立て承認を盾に、辺野古新基地建設を強行しています。

辺野古の海岸のテント村での座り込みが、2004年4月から現在まで4000日を超えました。新基地建設に向けた海上作業が続き、米海兵隊基地キャンプ・シュワブのゲート前では市民らが抗議し、デモや座り込みが今も行われています。

テント村で代表の篠原孝子さんから「ジュゴンが住むサンゴ礁が美しい辺野古の海に絶対新基地は造らせない。全国の仲間が支援に駆けつけてくれるが、もっともっと世論の力を強めて安倍政権の企みを打ち砕きたい。普天間基地が住民にとって危険だから、辺野古に移設し新基地建設と言っているが、実際は世界戦略のため弾薬庫が近くにあり、2つの大型滑走路と大型艦船を接岸できる基地建設を造ることが目的です。このことをもっと多くの人々に伝えていきたい」と力強く語られました。

## 戦争法案は 廃案に！

おおさか1万人大会

7月18日(土)

PM5:00~

会場:扇町公園

地下鉄・扇町駅2号出口すぐ  
JR環状線天満駅徒歩約3分  
集会後パレードがおこなわれます。**大阪損保革新懇(青色)**の旗の下にご集合ください。

### 尼崎アスベスト裁判 お礼

前多康代さん(損保ジャパン革新懇)

最高裁の上告不受理決定により2014年3月6日の大阪高裁判決が決定しました。

父の死亡原因はクボタのアスベストと断定されました。しかし、クボタが「救済金」を認める範囲である1.5キロにも及ばない300メートルという極小距離で被害実態と大きくかけ離れたものです。また、1940年のアスベスト工場労働者の被害を調査し危険性を把握していたにも関わらず60年も使用を規制せず、被害を拡大させた国の責任は不問にするものでした。「僕一人でも闘う」と提訴した兄を誇りに思います。そしてアスベストによる根治療法が1日も早く見つかることを切に願います。

みなさんには度重なる署名などで、ご支援いただき本当にありがとうございました。  
(事務局より) 前多さんから、大阪損保革新懇に多額のカンパをいただきました。紙上をかりてお礼申し上げます。



## 青い空と海と基地の島沖縄を訪れて

伊丹空港での手荷物検査でザックにアーミーナイフがあるとわれびつくり?

底に小さなスイス土産のナイフが隠れていました。没収されがっかりでした。

辺野古の座り込み4074日目です。テント村を訪れることが出来ました。座り込みそして抗議をしたかったです。時間がありませんでした。

梅雨明けでこれぞ沖縄一青とエメラルドグリーンの美しい海を眺めていると新基地建設阻止の思いがますます強くなりました。

沖縄言葉「まじゅんさーに ちばらなやーさい」一緒に頑張っていきましょう!

渡部純代さん

沖縄の海も空も真青で美しかったです。この美しい海に最新鋭の基地をつくるなんて・・・とまず思いました。そして沖縄は本当に暑かったです。肌がこげつくような日差しの中、少し歩くだけでくたくたになりました。その中を毎日毎日テント村に集い、デモに参加されているとお聞きし、本当に頭が下がりました。

本土にいる私たちと沖縄はやはり違うと思います。“非暴力のたたかい”をずっと続けてきた深く強くやさしい沖縄の歴史をもっと学びたいと思います。そして何としても、安倍首相に新基地建設を断念してもらうために、周りの人に語りかけたいと思います。

中村啓子さん

## 沖縄ツアーに参加して

2泊3日の「沖縄ツアー」に参加しました。

昭和20年4月1日より始まった米軍による「沖縄本土地上戦」を中心に、沖縄県民の4人に1人の19万人近くの方々が犠牲となりました。

終戦後も「私有地」を「銃剣とブルドーザー」で強奪され、70年も「米軍基地」として辛苦の限りを強要されました。

大多数の沖縄県民・多数の日本国民が「新基地反対」の意志を示し、多数の方が闘いに参加しています。参加者は文字通り「身体を張って」子や孫の世代のために「命をかけて」長期に亘る厳しい闘いを続けています。

この闘いは「日本を戦争する国」にしようとしている安倍政権を打倒し、「安保条約の是非」を問うことにもつながります。沖縄・日本国民と心を一つにして、私も闘いに参加する覚悟を強めたツアーとなりました。

中川 昇さん

## 熱き連帯

沖縄平和ツアーの圧巻は、第1日目の沖縄革新懇代表世話人・仲山忠克弁護士の話でした。沖縄県民一丸となって団結した「オール沖縄」は安倍政権にゆれている日本に大きな勇気を与えています。なぜ「オール沖縄」が生まれたのか興味のあるところでした。瀬長亀次郎著の『民族の悲劇』の文章の中に、「朝起きてみると数千坪の青田が打ち固められ砂浜に生まれ変わった。それを見ておばあさんが卒倒したのである。

戦争で夫、息子全部を奪われ、天涯孤独となったおばあさん。唯一の命の綱であった畑もなくなった」と書かれています。こんなことが沖縄で行われていたのです。瀬長さんは「他国の人民に死の自由の扉を開かんとするものは、いつの日か、開かれたその扉の入り口に立っているわが身を発見するだろう」と書いています。長い闘争の歴史の中で「報いを求めない献身性」原則的な闘いが、「オール沖縄」を育ててきたと仲山弁護士は解き明かしました。

また辺野古テント村の代表から「普天間基地が危険だから辺野古に移設するのではなく、新たに世界戦略のためにより強固な基地を手に入れるためのものである」と聞き納得しました。

いのち育む大地を再び戦争に巻き込んではいけません。

福井香苗さん



金網の向こうは辺野古の米軍基地をバックに平和委員会(沖縄)と儀代表のお話を聞く

## 戦国のゲルニカ

『大阪夏の陣図屏風』から  
現代の平和を考える

7月24日(金) PM6:30~  
アイクルの部屋にて

大阪城天守閣元館長

渡辺 武さんに読み解いていただきます

参加費500円・懇親会1500円

(ビール・手作りのお料理)